

令和4年2月25日（金）給食時の放送

「総合的な学習の時間では、平和について学習しました。中部中学校は昔、海軍の飛行場があった場所で、飛行場をつくるために、立ち退きを強いられた人たちがたくさんいたことを知りました。」

「フィールドワークで飛行場の名残がある場所を巡ることで、戦争を感じ、平和の大切さを学びました。」

公立高校の一般入試を間近に控え、3年生の面接練習を火曜日と木曜日に行いました。その際、私がした「総合的な学習の時間で何を学びましたか。具体的に説明してください。」という質問に対する3年生の回答です。

本校は、第2次世界大戦の終戦間近、海軍の飛行場があった場所の一角に建設されており、本校の周辺には、その名残がうかがえる場所があります。そして、これを題材に2年生から3年生にかけて、戦争と平和について学んでいます。先日、2年生の学習が始まったところです。私は中学生の時期に、戦争と平和について学ぶことはとても大切なことだと考えています。中部中学校でしかできないこの学習を通して、皆さんには戦争に巻き込まれた人たちの苦しみや悲しみを実感してもらいたいし、当たり前のように過ごしている平和な日常のありがたさを感じてほしいと考えます。

さて、皆さんも知っているとおり、昨日、ロシアのウクライナ侵攻が始まりました。私たちは当事者ではないので、報道されている以上の詳しい事情は分かりません。ロシアにはロシアの理由があるのですが、ウクライナの領土に武力で侵攻する行為はあってはならないことであり、断じて許されるものではありません。もうすでにたくさんの方が命を落としています。

私は、戦争は最大の人権侵害だと考えています。人間は生物である以上、寿命が尽きればやがて死んでしまいます。いつか死んでしまうならば、なぜ生まれてくるのか、私は昔、そんなことを考えたことがあります。そして、そのとき出した自分なりの結論は「人は幸せになるために生まれてくる」というものです。答えになっていないと非難されるかもしれませんが、その結論に達したとき、私は何だか腑に落ちたのです。だから、人権とは「みんなが幸せになる権利」であり、戦争によって、ある日突然、何の前触れもなく命を奪われることはあってはならない人権侵害なのです。

2022年2月24日、ロシアがウクライナに侵攻したこと、そしてこの後の経過と結末は、人類の歴史に記され、いつか社会科の教科書にも掲載されるでしょう。私は皆さんにはこの問題を、ぜひ自分事として考えてほしいと思います。戦争は昔あったことではなく、今も現実に行っていることです。ウクライナの人々は今、どんな気持ちで過ごしているのかを想像してみてください。今の私たちにできることは、平和を願い情勢を見守ることしかありませんが、私は真剣に願おうと考えています。

さて、今日はおいしい給食の時間に重たい話をしごめんなさい。世界の情勢について考えること、平和について、人権について考えることを通して、皆さんには思いやりのある、温かい人になってほしいし、いじめや暴力のない中部中学校であってほしいと思っています。

3年生については、あと10日に迫った入試に向けて、体調を整えてしっかり頑張ってもらいたいし、残り少ない中学校生活ですから、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

1、2年生については、学年末テストが終わりましたので、本来ならば今日から部活動再開になり、大いに発散させてあげたいところですが、知ってのとおり香川県ではまん延防止等重点措置の適用期間中であり、部活動が原則中止になっています。コロナに関しては先の見えない日々ですが、今一人ひとりが気をつけて感染防止対策に取り組んでいることが第6波の収束につながることを信じて、引き続き、理解と協力をお願いします。自宅でできるトレーニングはぜひやってください。

以上です。静かに聞いてくれてありがとう。